

昇仙峡地域活性化推進協議会
第2回幹事会 議事概要

日 時 令和2年10月27日（火）午前10時～午前11時
場 所 甲府市役所4階 本部長会議室
出席者 幹事長、幹事8名、幹事代理1名
欠席者 幹事1名
事務局 3名

【第2回幹事会 議事概要】

- 1 開会
- 2 幹事長あいさつ
- 3 昇仙峡地域活性化計画 2020年度事業計画 進捗報告
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

嗜好性調査を12月～2月にかけて行うということだが、調査の方法はどのように考えているか。閑散期にあたるため、現地調査となると信憑性が低くなる。

【幹事長】

インターネットを用いたアンケート調査などを予定している。新型コロナウイルスの影響もあるので、対面を避けて実施する。また、動向調査については、スマートフォンのGPSデータなどを活用しながら、観光客がどのように移動しているかを調査するとともに、インターネットによる嗜好性の調査を行うことを考えている。

【幹事】

そのような調査を行う専門業者があるのか。

【幹事長】

専門業者がある。山梨県で過去にそのような調査をした経過等があるので、そういったものも参考にしていきたい。

- 4 2020年度事業 散策路等におけるベンチ等の設置について
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

設置予定箇所は、長潭橋からの遊歩道沿いとなる。道幅がかなり狭い道路となるため、設置場所が制限される。また、選定場所に設置可能か否かなど県の許可が必要となることから、事業の円滑な実施が図られるよう県の幹事には、主管部と連携をしていただけるよう協力をお願いする。

事務局から提案のあった箇所については、設置できるスペースがある場所ということを考えての提案である。来年度以降もベンチ設置の計画があるため、今回は、この箇所について実施したらどうかというのが事務局の提案である。

【幹事】

遊歩道沿い3か所に5基のベンチ設置ということだが、どういうことか。

【事務局】

1か所1基、2か所に各2基の設置を予定している。

【幹事】

来年度も、長潭橋からの遊歩道沿いとなる同エリアに設置するのか。

【事務局】

来年度は、同エリアではなく、甲斐市側の古道への設置なども含め、他の場所への設置を予定している。

【幹事】

昇仙峡は、日本一の渓谷美を誇り、歩いて見る場所としてとても良い場所である。ベンチが設置されると観光客にとってはありがたい。歩く観光として観光客に訴えるにあたり、プラスに作用すると思う。今年度は3か所に5基、来年度以降は他の場所に設置ということだが、今回提案のあった候補地には、最終的に3か所のみへの設置ということか。

【幹事長】

すでに石製のベンチなどが設置されており、スペースを考えると3か所への設置が有力であると考えている。昇仙峡観光協会から何か意見はあるか。

【幹事】

提示されたのは長潭橋から県営駐車場までのルートである。そこから上の滝上までの道は狭いので、ベンチの設置は、なかなか難しいと思うが仙娥滝から石門に向かうまでの区間は観光客が一番訪れる場所であり、昇仙橋のところに四阿が1つある。それ以外は夢の松島付近まで下らないとないことから、石門あたりから夢の松島付近までの区間に設置することは

可能か。

【幹事長】

夢の松島から仙娥滝までの遊歩道は、道幅が狭くベンチ設置のスペースを確保することが困難であり、人の滞留が通行の妨げになってしまうことが懸念される。

今年度は、なるべくスペースが確保できる場所に設置し、今回いただいたご意見については、来年度以降の参考にしていきたい。

【幹事】

事前調査は事務局で行ったということだが、昇仙峡の関係者は同行していないのか。

【幹事長】

事務局のみでベンチを設置できそうな箇所を調査したうえで、昇仙峡観光協会に相談をしている。場所は決定事項ではなく、候補地としてあげさせていただいた。

【幹事】

設置エリアをみると、あげていただいた候補地くらいしか設置スペースが確保できないことが想像できる。この件については、理解できた。

【幹事長】

すでに石製のベンチなどが設置済みということや新たにベンチ設置するスペースの問題を考慮すると、場所の選定は難しいが、引き続き、昇仙峡観光協会などの関係者とも相談し、その状況をメールで情報共有させていただきたいと思う。

5 昇仙峡地域活性化計画 2021年度事業（案）について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

事務局から説明があったとおり、令和3年度の補助率（10/10）の事業については、補助金の上限額が1千万円程度であるため、1千2百万円程度まで圧縮する必要がある。

さらに、日本遺産専用のホームページ作成についても、ご意見をいただきたい。

日本遺産の認定申請をする段階では、当初の補助金の分配が3年間で7千万円ということであったため、令和3年度の事業は、ソフト事業（補助率10/10）にウエイトを置いて考えていたが、令和2年度から配分が変更され、ソフト事業（補助率10/10）は、上限額が1千万円程度となり、ハード事業（補助率2/3）は、上限額が5千万円程度と提示された。

これにより、事業の見直しが必要となったことから、事前に皆様からいただいた（案）を

もとに、今年度の実績等を踏まえて圧縮したものを事務局（案）として提示したが、さらに2百～3百万円ほどの圧縮が必要である。

令和3年度事業の中で、学術調査と未指定文化財の調査研究にかかる事業費が大きなウェイトを占めていることから、内容を精査することで金額を抑えることは可能か。これは甲府市と甲斐市から提案があった事業であるが、検討の余地があるかご意見をいただきたい。

【幹事】

未指定文化財の調査研究は、最大で5百万円ほどかかるであろうということなので、精査していけば下がる可能性はある。学術的なものとしてだけで終わらず、それを観光情報に活かしていくことを考えると、単なる調査というわけにはいかないが、測量調査などについては、ある程度細かく精査していけば下げることができると思う。

【幹事長】

精査を進めて、金額の調整をお願いしたい。

【幹事】

甲斐市と再度確認して、後日報告させていただく。

【幹事】

上級者向けのハイキングコースの開発費が0円となっているのはどういうことか。

【幹事長】

こちらは、ワーキンググループを立上げ調査に取り組むことを想定している。その中で、コースを作っていくことも可能なのではないかと考えている。

1千万円の予算の中で配分が難しいことから、できることは協議会の中でやっていきたいと考えている。ワーキンググループ立上げについては、また、個別に相談をさせていただく。

【幹事】

文化庁に具体的な事業を示す段階で、補助対象外となることもあるため、個別に確認をしていって欲しい。

【幹事長】

補助金の対象事業、対象外事業については、我々でも情報収集をしながら皆様にも共有していければと思っている。また、補助対象外事業ではあるが、リバイバルプランの推進ということで実施していく事業もあるため、皆様には、ぜひ協力をお願いしたい。

また、令和4年度の事業に予定している「県営駐車場の改修」や「個別文化財のAR/VRの構築」、「登山道整備と桜の植樹」などについては、事務局で調べたところ補助対象外となり、事業費の全額を協議会で負担することとなるため、山梨県と甲斐市には、今一度ご検討いただく必要がある。

なお、令和3年度事業の「情報コンテンツ作成事業」の中で、日本遺産ホームページの開設を事務局（案）として提示している。日本遺産に認定されている他の協議会など、専用のホームページがあることから、本協議会でも専用のホームページを作成し、トップページ以降の日本遺産に関する情報などは、甲府市観光協会のホームページへ掲載し、作成する専用のホームページからシームレスにアクセスできるとともに、ホームページ運営のランニングコスト削減を図っていきたいと考えている。

現在、甲府市の記念事業課のホームページが同様の形式で運用しており、これと同じやり方をイメージしている。

この場で決定できない部分があると思うので、再度検討していただく中で、随時ご連絡をいただければ、11月頃に予定している第2回総会の資料等へ反映させていただく。

6 昇仙峡リバイバルプランの進捗状況について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事長】

昨年、昇仙峡リバイバル会議において提出された昇仙峡リバイバルプランについては、皆様のご協力をいただいたところであるが、いよいよ実行へ移していく段階となっている。

また、昇仙峡リバイバルプランの目標数値というものが定められており、今年度が基準年度となっている。観光客の滞在時間や消費額といったものを数値目標として掴まなければならないので、11月の観光客が多い時期に、アンケート調査を実施していく予定である。調査は、対面式ではなく、各自記入していただき、回収することを考えているので、昇仙峡観光協会へは、改めて依頼させていただくが、ぜひ協力をお願いしたい。

認知度調査は、市民への浸透度調査として、どのように実施していくか現在検討中であるが、実施の際には皆様にもご協力をお願いしたい。

【幹事代理】

昇仙峡リバイバルプランの「スマートフォンを活用したフォトハンティング等のイベントの実施」について、日本遺産専用ホームページ開設とリンクしてくるところだと思うが、スマートフォンやSNS対応についてはどう考えているか。

【幹事長】

ただいまご指摘のあった事業については、昇仙峡観光協会において実績がある。来年度以

降対応していきたいと考えている。

ホームページのリンクについては、今後の検討課題としたい。

【幹事代理】

ぜひ対応していただきたい。

7 その他

【事務局】

本日の幹事会を踏まえ、修正や見直しが必要な箇所は直ちに調整・修正し、11月頃に予定している第2回総会に諮りたいと考えている。

調整したものについては、メールで送らせていただくので、確認をしていただきたい。

【幹事長】

今年度については、夢の松島のトイレ改修やベンチ設置などの事業があり、短期間の中で年度内に工事が完了するよう進めていくので、皆様にも引き続きご協力いただきたい。

8 閉会

午前11時終了